

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

使用する前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

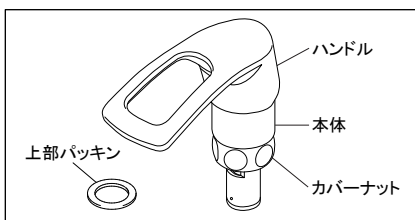
- 60℃以上のお湯には使用しないでください。
- 混合栓には使用しないでください。
- 凍結の恐れがある所には設置しないでください。器具の破損および水もれの恐れがあります。
- 本品は絶対に分解しないでください。破損や故障の原因になります。

製品同梱明細・各部のなまえ

* 下記を参照の上、同梱部材を確認してください。

品名	個数
シングルレバー上部	1コ
上部パッキン *1)	3コ
取扱施工説明書	1コ

*1) 上部パッキンのうち2コはあらかじめカバーナットの中に入っています。



取付方法

* 取付けの前に…

数秒間水を通し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。



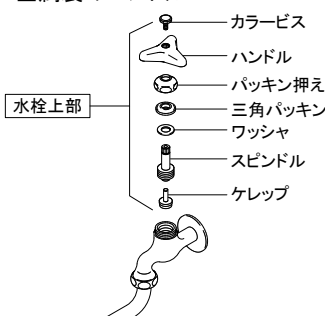
- ハンドルを吐水状態にしても水栓から水が出ないかを確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。
- 取付作業を行う際は、軍手・あて布などを使用してください。手などをケガする恐れがあります。

* 下記の説明で使用している水栓のイラストは、代表的な機種のもです。部品の取付け・取外しの際は、使用中の水栓の付属説明書などを合わせて確認してください。

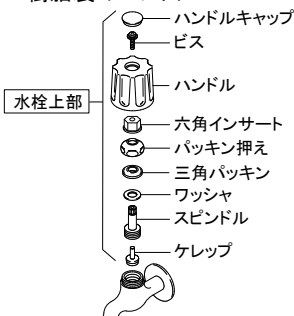
1. 水栓上部を取外します。

水栓のハンドルによって水栓上部の取外し方法が異なります。使用中の水栓に合わせて取外し方法を選択してください。

●金属製のハンドル



●樹脂製のハンドル



《金属製のハンドルの場合》

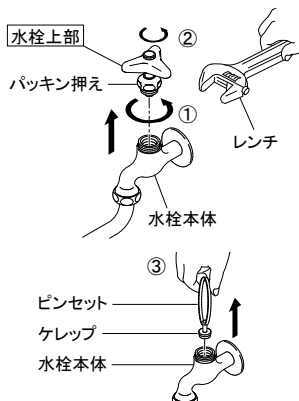


作業中に、水栓本体が絶対に動かないように手でしっかりと固定して作業を行ってください。水栓全体がゆるむと、水もれする恐れがあります。

①パッキン押えを「レンチ」などで矢印の方向にまわして外します。

②水栓上部を手で矢印の方向にまわして取外します。

③水栓本体に残っているケレップを「ピンセット」などで抜取ります。



取付方法(つづき)

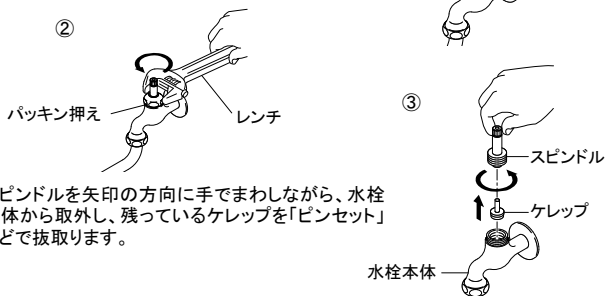
《樹脂製のハンドルの場合》

* 下記の手順③でスピンドルを取外しやすくするため、①作業前にハンドルをゆるめておいてください。

①ハンドルキャップを取外した後、「プラスドライバー」でビスを取外し、ハンドル・六角インサートを抜取ります。

②パッキン押えを「レンチ」などで矢印の方向にまわし、パッキン押え・三角パッキン・ワッシャを取外します。

③スピンドルを矢印の方向に手でまわしながら、水栓本体から取外し、残っているケレップを「ピンセット」などで抜取ります。



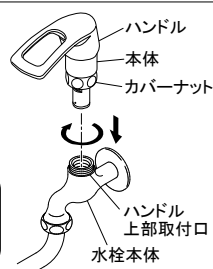
2. 本品を水栓に取付けます。

本品を水栓本体のハンドル上部取付口に差込み、カバーナットを「レンチ」などでしっかりと締付けます。

* 本品は左右の方向調整ができませんので、取付前にハンドルの向きを決めてから作業してください。



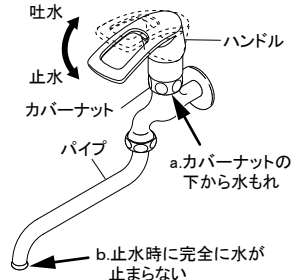
作業中に水栓本体が絶対に動かないように、手でしっかりと固定して作業を行ってください。水栓本体がゆるむと、水もれする恐れがあります。



3. 取付後の確認を行います。

①ハンドルが止水状態(閉)であることを確認してから、止水栓または元栓を開きます。

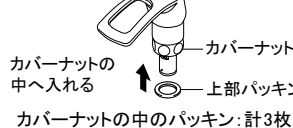
②ハンドルを数回上下に動かして、吐水・止水を繰り返します。* 水もれが発見された場合は、ハンドルを止水状態(閉)にして、止水栓または元栓を閉め、下記の要領で取付け直ししてください。



a. カバーナットの下から水もれした場合 同梱の上部パッキンをカバーナットの中に入れてください。

b. 完全に水が止まらない場合 カバーナットの中に入っているパッキンを1枚だけ抜取ってください。

a.



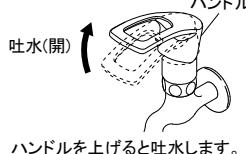
b.



使用方法

●ハンドルの操作方法

●吐水



●止水



ハンドルはゆっくりと操作してください。ハンドルを急に操作しますと、ウォーターハンマー(衝撃音)が生じ、配管から水もれを起こす恐れがあります。